

かながわ中央メーデー

かながわ中央メーデー及び8か所で開催された各地区メーデーは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、WEB会場を設置し、4月29日（木）～5月14日（金）までの間、視聴できる態勢にて『働く者の祭典』を実施しました。

かながわ各地域のメーデーは、『今こそ心をひとつに！働く仲間の笑顔のために、感謝と思いやりの絆をつなぎ、希望あふれる未来を切り拓こう！』をスローガンとし、『働くことを軸とした安心社会—まもる・つながる・創り出す』の実現に向けた取り組みを確認し合うメーデーとなりました。



第92回かながわ中央メーデー



吉坂実行委員長（連合神奈川会長）の主催者あいさつでは、「メーデーの起点は、働く者の団結！を確認する。とともに10年前の東日本大震災の経験と教訓を風化させてはいけない。」と働く者の連帯を呼びかけました。さらに、「コロナ禍の影響により地域社会での連携、子育て世帯や高齢者世帯への支援は重要。今、社会保障制度の機能強化が求められている。」と述べました。また「メーデーの起源を心に刻み、社会変化がもたらす様々な課題を乗り越え『働く者を軸とした安心社会』の構築が必要」と述べました。

高橋副実行委員長（横浜地域連合議長）は、「コロナ禍で多くの方が苦しい思いをしている。働く者の代表として知恵と工夫で役割を果たしたい。また、コロナ禍において、働き方も変化を余儀なくされた結果、働き方を見直すきっかけになっている。明るい未来を描いて前向きに生活しましょう」と述べました。

今回のメーデーには、黒岩知事（神奈川県）、林市長（横浜市）よりそれぞれあいさつがされ、政党代表、連合神奈川議員団会議を紹介されました。

メーデー宣言では、徳留青年委員会副委員長（連合神奈川：運輸労連神奈川）が元気いっぱいに宣言しました。



吉坂実行委員長の団結！『ガンバロー』にて閉会しました。



イベント会場では、横浜平沼高校の吹奏楽部の皆さんによる、特別演奏！テーマは『桜』。桜ソングメドレー『①SAKURA:いきものがかり ②さくら:ケツメイシ ③桜坂:福山雅治 ④サクラ咲ケ:嵐 ⑤さくら:森山直太郎』『宝島』を披露している。心が癒される会場でした。その他、跳び箱世界記録保持者の池谷直樹さんが、自宅のできる簡単な体操を紹介し、親子でリフレッシュできるとしていました。また、プロバスケットボールの人気チーム『ビーコルセアーズ』の紹介。労働組合らしく『メーデー』の歩みなど工夫を凝らした会場になっていました。

